◆日本の諸地域 ②◆

中国・四国地方の指導にあたって ~人口や都市・村落を中核とした考察

●『学習指導要領解説』の抜粋

日本の諸地域について、幾つかに区分し、その地域 的特色や地域の課題を理解する。次の①から⑤まで の考察の仕方を基に、空間的相互依存作用や地域な どに着目して、主題を設けて課題を追究したり解決 したりする活動を通して、知識及び思考力、判断力、 表現力等を身に付けることができるよう指導する。 ①自然環境を中核とした考察の仕方、②人口や都市・ 村落を中核とした考察の仕方、③産業を中核とした 考察の仕方、④交通や通信を中核とした考察の仕方、 ⑤その他の事象を中核とした考察の仕方。

②人口や都市・村落を中核とした考察の仕方

地域の人口の分布や動態、都市・村落の立地や機能に関する特色ある事象を中核として、それをそこに暮らす人々の生活・文化や産業などに関する事象と関連付け、人口や都市・村落が地域の人々の生活・文化や産業などと深い関係をもっていることや、過疎・過密問題の解決が地域の課題となることなどについて考察することが考えられる。

●指導上の留意点

まず、この地方について、なぜ「人口や都市・村落 を中核とした考察」をするのかを理解させたい。また、 この問題を生徒にとって身近なものとして意識させる ための導入を用意する必要がある。そのために、例え ば教師や生徒のまわりの人で過疎地に住んでいる、あ るいは、都市部に移住を余儀なくされているといった 実例を探し、そこにどのような生活上の問題や困難が あるかを調べさせたり、考えさせるなどして自分の事 としてとらえさせたい。また、一方では、自動車その 他の産業が発達し、プロ野球球団の本拠地にもなって いるような大都市である広島市もあり、産業や人口分 布に大きな地域差があることが中国・四国地方の抱え る問題の一つであることを理解させる。統計地図(人 口密度、人口の増減率、高齢者人口率、一人当たりの 所得、産業別就業人口率) や都市分布図などの作成・ 読図などの作業を含む学習とし、まとめる力を育ませ たい。新聞記事や視聴覚教材の活用にも留意したい。

●ワークシートの単元構成 《想定する時間数:全体で5時間》

時数	単元名	学習内容	主な学習項目	ページ
1	中国・四国地方をながめて	中国・四国地方の位置と広がり自然環境、地域区分	位置、範囲、県の名称と分布地形と気候、三つの地域の自然の特色	p.62
2	人口分布と 広島市のあゆみ	人口分布の地域差 大都市広島の歩みと現状	中国地方の人口分布 城下町から軍事都市へ、被爆と復興 大都市への発展、都市問題	p.63
3	瀬戸内海と 人口の集中する地域	瀬戸内に集中する都市	都市の分布主な工業	p.64
4	人口の少ない地域の 課題と対策	人口減少と過疎問題	少子化、高齢化過疎化、過疎問題	p.65
5	中国・四国地方のまとめ	大きくとらえた中国・四国地方	白地図を利用して、中国・四国地方 の特色を整理する	p.66

中国・四国地方

中国・四国地方 をながめて

●学習のねらい●

地図帳を使って中国・
四国地方の広がりや構成す
る県、自然環境の特色を
調べよう。
L

(K) (

中国・四国地方は九州地方と近畿地 方の間の位置にあり、古くから瀬戸内海 の航路を利用した結びつきが見られま す。中国地方には中国山地、四国地方に は四国山地がそれぞれ東西方向に伸び、 それらを境として日本海側(山陰地方)、 瀬戸内、太平洋側(南四国地方)の三つ の地域に分けられます。こうした地形と 季節風の影響によって、それぞれの地域 の気候に違いが見られます。日本海側は 冬に雨や雪が多い一方、瀬戸内は温暖で 晴天が多く水不足に悩まされることもあ ります。太平洋側は沖を流れる黒潮(日 本海流)の影響により一年を通じて温 暖で、夏の降水量が多くなります。また、 台風が通過して強風や大雨などの自然災 害に見舞われることがあります。

中国地方は鳥取県、島根県、岡山県、 広島県、山口県の5県、四国地方は香川 県、愛媛県、徳島県、高知県の4県から それぞれ成り立っています。瀬戸内海を 囲む地域は比較的人口が多く分布してい るのに対して、中国山地や四国山地の周 辺の山間部や瀬戸内海の離島、山陰地域 ともよばれる日本海沿岸部、南四国地域 ともよばれる太平洋沿岸部では人口分布 が少なくなっています。こうした地域で は、高度経済成長期に多くの人口が都市 部へ移動したことで、特に農業・林業・ 水産業の第一次産業が衰退しました。現 在でも、工場の労働力などとして都市部 への人口の流出が止まらず、過疎地域が 広がっています。

課題 1 左の地図のA~®に当てはまる地名を次の ()の中に記入しよう。また、ア〜ケの県名 と県庁所在地の都市名を下の欄に記入しよう。

(A) ()諸島 (B) () 海 © () 湖 (D) () 山地 (E) ()]]] (F) () 平野 (G) ()]]] (H) () 山地 ())]]] (J) () 岬

) 岬

 県名
 県庁所在地

 ア
 イ

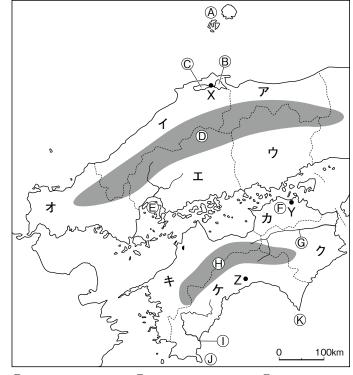
 ウ
 エ

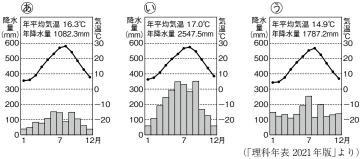
 オ
 カ

 キ
 ク

 ケ
 ケ

課題 2 上の地図中のX、Y、Z地点の気温と降水量のグラフを右のあ~⑤から選んで、下の欄に記入しよう。また、それぞれの地点の気候の特色を、書き出そう。





X地点():
Y 地点():
Z地点():

中国•四国地方 ②

人口分布と 広島市のあゆみ

●学習のねらい●

ず国・四国地方の人口 の分布がどうなっているの か調べよう。また、中国・ 四国地方の中心的な都市で ある広島市の歩みを理解し よう。

中国・四国地方は、人口分布に大きな かたよりのみられる地方の一つです。日 本海側や太平洋側の地域は、内陸部や山 間部を中心に人口密度が低くなっている 一方、瀬戸内地域は、平野部に広島市を はじめとして大都市が分布し、人口密度 が高くなっています。

広島市は、太田川を干拓した三角州の 上に城下町として発達してきました。明 治時代に入ってからは中国地方の中心と してさらに発展し、沿岸部の埋め立てや 港の建設が進みました。そして、日清戦 争・日露戦争時には陸上と海上の交通が 整備され、軍事関係の施設が多く置かれ るようになり、しだいに軍事都市として の性格を持つようになりました。1945 年8月6日、アメリカ軍によって原子爆

弾が投下されて、市街地は破壊され多く の死傷者を出しました。

第二次世界大戦後の復興はめざまし く、市町村合併や自動車工業の発達もあ って、戦前の人口をこえる大都市に発展 しました。1980年には政令指定都市に 指定されました。新幹線や航空機などの 交通手段の発達もあって、東京や大阪に 本社・本店のある企業が支社・支店を 広島に進出させるなど、広島市は中国・ 四国地方の地方中枢都市として発展を 続けました。

こうした発展により都市部では交通渋 滞などの都市問題が発生していますが、 その一方で、広島市は国際平和文化都市 として、国の内外に核兵器の廃絶と平和 へのメッセージを発信しています。

課題 1 次の表は中国・四国地方にある県の人口密度(2020年) を示しています。

きっとり	158人/km²	とくしま 徳島	176人/km²
島根	101人/km²	香川	510人/km²
おかやま	266 人/km²	えびめ愛媛	236人/km²
ひろしま広島	331 人/km²	こう ち 高知	98人/km²
やまぐち 山口	222人/km²	(「住日	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -

・右の白地図に、人口密度の違いをもとに、各県を次のように 色分けしよう。

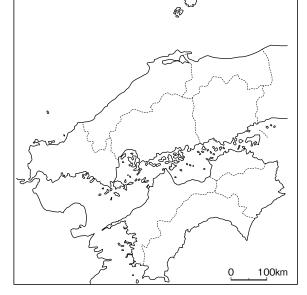
300人以上:赤色 200~299人:黄色 200人未満:青色

課題 2 課題1で作成した地図を見て、人口密度が高い地域を 次のA~Cから一つ選んで、記号で答えよう。

A = 日本海に面した地域

B = 瀬戸内海を囲む地域

C=太平洋に面した地域



課題 3 次の①~⑤は、広島市の歴史に関係があることをまとめた文です。それぞれの文について、正しければ○、 まちがっていれば×を書き込もう。

- ① 港が整備され、鉄道の便もよかったので、日清戦争当時、軍の司令部や臨時の帝国議会が置かれた。(
- ② 第二次世界大戦にいたる歴史の中で、軍の施設や軍事産業が多くなり、軍事都市の性格が強くなった。
- ③ 1950年8月6日原子爆弾が投下され、市街地のほぼ全域が破壊された。(
- ④ 戦後の復興はめざましく、1980年には中国・四国地方のなかではじめて政令指定都市になった。 ()
- ⑤ 原爆ドームがユネスコの世界遺産に登録された。()

課題 4 広島市では路面電車が市民の重要な交通手段になっていますが、かつては廃止の対象とされたこともあり ました。路面電車の存続について自分の意見を、その理由も含めてまとめよう。

中国·四国地方②一63

中国・四国地方 ③

瀬戸内海と人口の集中する地域

●学習のねらい●

瀬戸内海を囲む地域には 都市が多いこと、また、それらの都市はどのような産 業が発達しているのかを調 べよう。

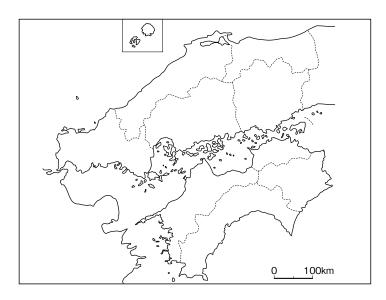
ちゅうごく りょう りょう ローロー 国山地や四国山地、離島の農村地 域では、農業・林業・水産業の第一次産 業を中心とした経済によって人々の暮ら しが営まれてきました。一方、瀬戸内海 の沿岸地域では明治時代に鉄道が開通す ると、朝鮮半島や中国に近い九州地方 への交通路として、鉄道網に沿って都市 が連続するように発達してきました。こ の地域は高度経済成長期に、以前からの 造船業などに加えて、鉄鋼や石油化学、 自動車などの工業が発達し、瀬戸内工業 地域とよばれるようになりました。さら に、中国自動車道や山陽自動車道の開通、 本州と四国を結ぶ本州四国連絡橋の三 つのルートの整備、地方空港の開設など、 中国・四国地方の交通網は発達していき

ました。

こうした交通網の整備により、各地域の人々の生活は変化しました。例えば本州四国連絡橋により、四国からの本州への物資の輸送が容易となり、通勤や通学、買い物などで四国から本州へ出かける人が増えました。その結果、商店街がさびれたり、デパートが閉店したりするなど地元の商業は大きな影響を受けています。また、自動車の利用が増える正とでます。また、自動車の利用が増える正常廃止したり、利用客が少ないことで地方で地方で地方の人間で地方の大変通機関に対して、地元の自治体でした交通機関に対して、地元の自治体では、被金を投入したり、税金を投入したり、

課題 1 次の表はこの地方にある人口15万人以上 (2020年1月1日)の都市を示しています。これら の都市を右の地図に黒丸で書き込もう。

県	都市	人口(万人)	県	都市	人口(万人)
鳥取	鳥取	18.7		下関	26.1
島根	松江	20.2	山口	山口	19.2
Б 似	出雲 17.5			宇部	16.4
IZI.I.	岡山	70.9	徳島	徳島	25.3
岡山	倉敷	48.2	香川	高松	42.7
	広島	119.6	愛媛	松山	51.1
広島	福山	46.9	変 仮	今治	15.8
山山田	呉	22.2	高知	高知	32.8
	東広島	18.9	(「住民	是基本台帳	人口要覧」より)



課題 2 右の表は2019 (令和元) 年から2020 (令和2) 年 にかけて人口が増えた都市と、増えた人数を示しています。 地図帳で位置を確認し、上の地図に赤丸で書き込もう。黒 丸の都市に重なる場合は、黒丸のまわりを赤丸で囲もう。

都市	2019年 人口(人)	2020年 人口(人)	増加数(人)
総社	69,151	69,338	187
東広島	187,718	188,779	1,061
下松	57,103	57,328	225

(「住民基本台帳 人口要覧」より)

課題 3	課題 1 。	と2の作業の結果、	どんなこん	とがわかり	ましたか。

課題 4 瀬戸内海沿岸の都市の中でも、特に工業が盛んな都市として倉敷市と広島市があります。それぞれの都市で盛んな工業を調べ、瀬戸内海沿岸の都市に人口が流出する理由をまとめよう。

 																 -	_	 _	
 	 	 	 	 	 	_	 _	_	 	 	 	 	 _	 	_	 -	_	 _	

中国・四国地方 ④

人口の少ない地 域の課題と対策

●学習のねらい●

中国・四国地方の過疎 地域で起きている地域社会 の課題とその対策について 調べよう。 中国・四国地方の日本海側と太平洋側の地域では人口が少ないうえ、現在でも人口の減少が続いています。なかでも、中国山地や四国と対方の多くの島々では引き日本海や瀬戸内の多くの島々ではまな問題がみられます。多くの青年や働きるとが進学や就職のために都高齢化が進んでいます。こうした人口減少管理が動化により、森林が荒れたり休耕田や耕しくなり、森林が荒れたり休耕田や耕作放棄地が増えたりしています。また、地域の病院や学校、商店などの維持が難しくなり、バスなどの公共交通も路線がしています。ない、バスなどの公共交通も路線が

整定しています。されたり便数が減らされたりして、 生活条件は厳しくなっています。さらに、 地域の伝統的な行事が継続されなくなる などの影響もみられます。

こうした自治体のなかには、財政が悪化したり、高齢化によりその地域の人々の生活や社会の持続が難しい「限界集落」とよばれる地域がみられるようになりました。中国自動車道など高速道路の整備により山間部に工場が進出し雇用が生まれたり、農水産物が出荷しやすくなることで地域おこしが進められたりする例もありますが、教育や行政サービス、商業活動が都市部に集中し、いっそう過疎化が進む傾向がみられます。

課題 1 右の表は2015年から2020年にかけての中国・四国地方の各県の人口の動きを調べて表にしたものです。人口減少が著しいのは日本海側、瀬戸内、太平洋側のうちのどの地域が答えよう。

()

課題 2 次の図は中国・四国地方の過疎化のしくみを図式化したものです。図中の①~

⑧に当てはまる言葉を下の語群から一つずつ選び、解答欄に記入しよう。

	2015年(万人)	2020年(万人)	増減数 (万人)	増減率(%)
鳥取	57.4	55.4	-2.0	- 3.42
島根	69.4	67.2	-2.2	- 3.28
岡山	192.2	189.0	-3.2	- 1.66
広島	284.4	280.1	-4.3	– 1.50
山口	140.5	134.3	-6.2	-4.40
徳島	75.6	72.0	-3.6	-4.77
香川	97.6	95.1	- 2.5	- 2.58
愛媛	138.5	133.6	- 4.9	- 3.58
高知	72.8	69.2	- 3.6	- 4.97

(総務省「令和2年国勢調査」より)

瀬戸内海沿岸や(①)地域の 山間部の不利な農工業・都市の発展	業基盤	1
	農地の(⑥) 放棄	2
農業・牧畜・(②) の複合経 人口・労働力の	→ (⑦) の	3
営の崩壊 流出	一層の衰退	4
(③) 需要の変化 木材 (④) 人口の少子化・	【語群】 耕作 自由 若年	(5)
→炭焼の衰退 の低下 (®) 化	高齢 北九州 価格	6
	林業 阪神 エネルギー	7
(⑤) 化		8

課題 3 過疎化の問題としてどのようなことが起こっていますか。箇条書きにしてまとめよう。

•		
•		
•		
•		

中国・四国地方 ⑤

中国・四国地方のまとめ

●学習のねらい●

中国・四国地方の人口 の特色とその変化について 理解しよう。また、過疎地 域で見られる地域おこしな どの事例について、新聞記 事やインターネットなどを 利用して調べよう。 1950年代の終わりごろから始まった 高度経済成長は、日本に大きな地域格差 をもたらしました。太平洋ベルトを中心 に工業が発達し都市の人口が増加する一 方で、それ以外の地域では所得が伸びず、 人口が流出し、特に山間地や離島の多く で人口の過疎化が進みました。そのうえ、 木材輸入の自由化で安い外材が輸入され るようになり、それまでスギやヒノキな どの木材生産を中心とした林業は立ち行 かなくなりました。エネルギー革命とよ ばれる燃料の需要の変化によって満れる が売れなくなったことも、山村の過疎化 の原因になりました。

1975年に山陽新幹線が博多まで開業、 80年代以降には本州四国連絡橋や高速 道路が次々と開通し、地方空港の整備も 進んだ結果、人やものの移動が著しく変化しました。広島市など瀬戸内の大都市の 商圏や通勤圏が広がり経済活動が活発化しました。しかし、地域格差は縮小せず、過疎地域の課題は解決されることなく残りました。

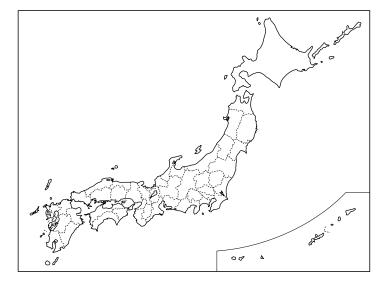
政府は、「平成の大合併」とよばれる 地方自治体の合併を積極的に進め、地方 財政の合理化を図りました。一方、道路 整備などの公共事業を助成するなどの対 策をとってきましたが、過疎化をくいと めるには至っていません。そうしたなか で、地域の自然や農林業・歴史遺産を都 市の住民のレクリエーションの場や観光 資源として活用したり、特産物を開発し て地域の産業に育てるなど、さまざまな 地域おこしの努力が行われています。

課題 1 次の表は都道府県別の一人当たり平均所得 上位10位と下位10位を示しています(2016年度)。右の地図で上位10位の都道府県を赤、下位 10位の都道府県を青で着色してみよう。

上位	所得(万円)
東京	534.8
愛知	363.3
栃木	331.8
静岡	330.0
富山	329.5
滋賀	318.1
神奈川	318.0
福井	315.7
三重	315.5
茨城	311.6

下位	所得 (万円)
沖縄	227.3
宮崎	240.7
鳥取	240.7
鹿児島	241.4
佐賀	250.9
熊本	251.7
長崎	251.9
奈良	252.2
秋田	255.3
青森	255.8

(内閣府「県民経済計算」より)



課題 2 課題 1 で作業した地図を見て、読み取れることとして正しいものを、次のア〜エからすべて選び、その記号を答えよう。

- ア. 気候が温暖な地域ほど所得が高く、冷涼なところほど所得が低い。
- イ. 平地が多いところほど所得が高い。
- ウ. 北陸の一部と、関東から中部地方を結ぶ帯状の地域に所得の高いところが多い。
- エ. 九州の大部分と山陰、東北地方などに所得の低い地域がみられる。 (

課題 3 昔と今とで、家庭で使われる燃料はどう変わってきたか、調べてみよう。

	_		_								_				_																		_				 		

課題 4 過疎対策に努力している中国・四国地方の事例を調べてみよう(場所・どんなことをしているか など)。
